

定年後の男性諸君、もっと故郷に触れましょう！我が国男性の平均寿命は 81.09 歳で、世界三位の超高齢社会であります。これをいかににより豊かに生きるかは個人に課せられた課題であります。しかし、地域に対する責任もあると思います。今や高齢化社会に進んでいく中、定年後、多くの有能な市民が家庭の中だけに生き甲斐を求める事なく、高齢者が地域で活力的に生きる基礎知識を学び、楽しみ、交流することにより、地域の活性化に貢献できると思います。地域を作るのはシニアです。高槻にもシニアに対していろいろな活動のグループがあります。参加し、一歩前に進みましょう。故郷に触れましょう！（馬淵）

■「高碓達之助パネル展」開催につき

今回我々との共催「高碓達之助パネル展」に関し、学ぶ会の会長である角芳春さんをお願いを掲載します。角会長よりは、

「さてこの度、昨年につき高碓翁命日にあたる 2 月 24 日、高槻市総合センター1階ロビーに於いて、世界の野人・高槻名誉市民「高碓達之助」パネル展を開催させていただきます。寒さ厳しき折ではございますが、ぜひご高覧を賜りたくご案内申し上げます。

周知の通り『高碓達之助に学ぶ会』は、高碓翁を顕彰し、同氏を育んだ風土高槻市の品格と誇りを持った風土づくりに貢献することを通じて、志とロマンを有する青少年を育成することを目的として発足しました。

当日は 9:30 より開会セレモニーを実施し、濱田高槻市市長ほか高碓翁にゆかりのある方にテープカットをお願いしております。お誘いあわせてのご高覧を、重ねてお願い申し上げます。」とのことです。



■例会のご案内。

- 3/4(月) 14:00~16:00「高碓達之助映像から」
担当: 語り継ぐ事務局 クロスパル第一会議室
- 3/18(月) 14:00~16:00「高槻の現状」
講師未定 クロスパル第二会議室
- 4/1(月) 14:00~16:00 高碓パネルディスカッション
担当: 内野・川崎・北村、クロスパル第二会議室
- 4/15(月) 14:00~16:00「高槻の歴史」
担当: 中川修一 クロスパル第二会議室

■来年度の抱負を語る。

我が会理事で「高槻を考える」の責任者中川さんに語っていただきました。

「昨年、高槻市制 75 周年の年でしたので、高槻市制の 75 年を初代市長磯村弥右衛門氏をはじめとして、歴代市長の功績を中心に考察をしてきました。その中で、戦中の昭和 18 年 1 月 1 日に誕生した「高槻市」が戦後の混乱期を抜け、戦後の復興期、そして高度成長期、そして昭和 45 年の大阪万博の頃から人口急増期を迎えました。平成 3 年のバブル崩壊と共に安定成長期に入り現在に至っています。

さて、本年は年号が変わる節目に当たりますので、あらためて高槻の町の歴史、産業、文化、教育について研究し、『高槻の町の本質』に迫りたいと考えます。高槻の地域の様々な事象が絡み合いながら現在を形づくっています。高槻の歴史を縦糸に、産業(農業を含む)の変遷を辿ったり、地域の文化に触れ合ったり、教育の現場を見分したりしながら、高槻を考えてみたいと思います。

特に、歴史的には江戸時代の高槻、明治時代の高槻、大正から昭和初期の高槻、高槻市制発足後の高槻と時代を振り返り、『高槻の本質』に迫ります」以上。

■高槻RCに於いて卓話を行う。

1/23 高槻名誉市民である山崎旭萃に関し、お話させていただきました。まずは琵琶の歴史から、奈良時代に伝わってきた楽琵琶と盲僧琵琶の歴史、そして、現在琵琶として薩摩琵琶、筑前琵琶をお話し、山崎翁に関しては素晴らしい琵琶演奏を背景に、翁の3つ人生ポイントに関しお話ししました。(馬淵)



【語り継ぐ会連絡先】 馬淵晴彦

FAX:072-689-3674

メール:h_mabuchi@office.zaq.jp

HP: <http://takatuki-meijo.sakura.ne.jp/>

NPO 法人

高槻名誉
市民を語り
継ぐ会